

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調査

4-I-2

4-I-2

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセス方法の確認・整備
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡地域振興局地域整備部
事業(施策)名	2 アクセスルートの管理及び整備(国・県道)	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○ 島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルートの管理及び整備を行うことにより、来訪者の円滑な移動を図る。	
	【事業内容】	○ 世界遺産登録による来訪者増等に対応した、島内の港から各遺跡や観光スポットまでのアクセスルート(国・県道)の管理及び整備を行う。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	島内の国・県道は24路線で約430kmとなっている。 ● 管理について 県管理道路のパトロールは、路線(区間)により平日の日中で、週1～5回実施しており、この他、夜間や休日のパトロールも行う。 パトロールの視点としては、路面状況、安全施設や排水など附属施設の状況確認のほか、落石などに対応するため、法面の変状などにも気を配って実施する。 ● 整備について R2年度は、5路線、15箇所においてバイパスや現道の拡幅工事を実施(県単独事業を除く)し、道路利用者の安全性と利便性の向上に努める。今年度は、佐渡一周線沢崎工区や佐渡縦貫線上横山工区が開通予定である。この他、岩谷口橋架替工事等の推進を進め、周遊ルートの機能拡充に努める。	
	【R2年度実績】	● 管理・整備とも計画どおりに実施。 県管理道路のパトロールを計画に基づき実施した。 10月8日に佐渡縦貫線上横山工区、11月12日に佐渡一周線沢崎工区がそれぞれ開通し、周遊ルートの更なる拡充を図った。 今後も、佐渡一周線岩谷口橋架替工事などの推進に引き続き取り組む。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 世界遺産の国内推薦が見込まれるR3年度以降は、観光客の増加が予想されることから、来訪者の円滑な移動を確保するため、道路パトロールを確実に実施し、安全性を確保していく必要がある。 ■ 現在施工中の工事箇所の進捗を図り、早期に完成させることで、来訪者の利便性を高めていく必要がある。 ■ 工事中や災害時の道路規制情報を的確に発信していく必要がある。	
	【今後の取組】	■ これまでどおり、管理道路のパトロールを確実に実施し、道路利用者の安全確保に努めるとともに、防災上対策が必要な箇所への対応を進め、整備中箇所の早期完成に努める。 ■ 規制情報を含む分かりやすい道路情報の発信に努める。	
事業評価	【事業の達成度】	◇ 管理については、従来から県管理道路のパトロールを確実に実施しており、道路利用者の安全確保に努めている。	
	【事業実施の効果】	整備については、予算や気象条件などの制約もあるが、概ね計画通り進捗している。 これらのことからBとする。	
	【総合評価】	〔 A (B) ・ C 〕	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。